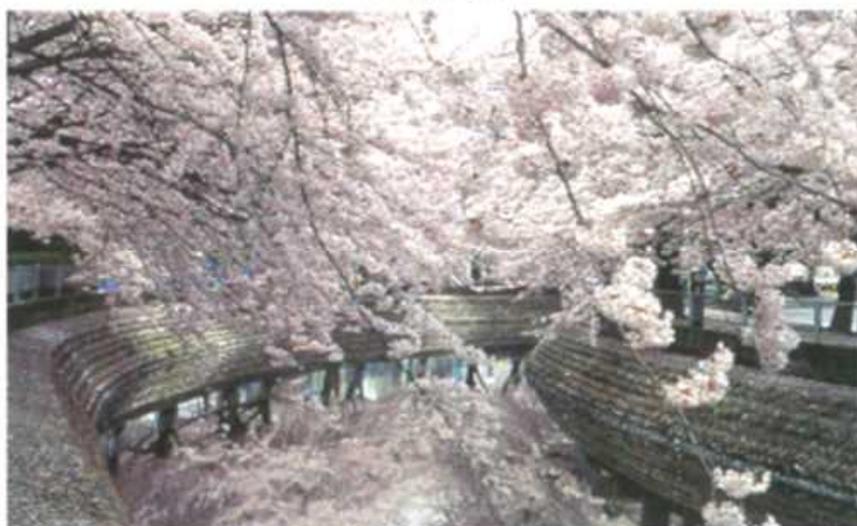


# 中小企業景況調査報告書

2020年度第4・四半期（1～3月）

大江山河川の桜



Cherry Blossoms on the Banks of Ogasawara River

## 目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 95社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 47社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所



# 調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施  
(方法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 95事業所

- V. 調査対象企業 次の表のとおり  
の業種

(1) 景況調査対象事業所 (95) の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	58
(繊維製造業)	(47)
(その他製造業)	(11)
卸売業	10
小売業	11
サービス業	9
合 計	95

(2) 繊維製造業対象事業所 (47) の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	5
織物製造業	21
染色整理加工業	10
縫製加工業	3
そ の 他	8
合 計	47

- VI. 分析 方法
1. DI (Diffusion Index) 分析  
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
  2. DI分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分析 項目
1. 前年同期比  
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
  2. 前 期 比  
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
  2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算
 

{	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

# 今 期 の 概 況

全業種で連続の改善も見られたが、  
緊急事態宣言再発令により未だ本格的な回復には程遠い景況感

## 1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で前期実績を上回った。

来期は、業況、売上、採算、資金繰り、従業員すべてのDI 値で今期実績を大きく上回る見通し。

### 指標別の状況

- 業況DI 値は、前期実績▲63.9 から▲60.0 (3.9 ポイント増) となり、来期は▲36.8 (23.2 ポイント増) となる見通し。
- 売上DI 値は、前期実績▲71.1 から▲66.3 (4.8 ポイント増) となり、来期は▲38.9 (27.4 ポイント増) となる見通し。
- 採算DI 値は、前期実績▲59.8 から▲58.9 (0.9 ポイント増) となり、来期は▲41.1 (17.8 ポイント増) となる見通し。
- 資金繰りDI 値は、前期実績▲23.7 から▲18.9 (4.8 ポイント増) となり、来期は▲17.9 (1.0 ポイント増) となる見通し。
- 従業員DI 値は、前期実績▲9.3 から▲6.3 (3.0 ポイント増) となり、来期は0.0 (6.3 ポイント増) となる見通し。

### 繊維製造業の状況

- 今期(表 2、5 参照)は、資金繰りのDI 値で前期実績を上回り、業況、売上、採算、従業員のDI 値で前期実績を下回った。
- 来期は、業況、売上、採算のDI 値で今期実績を上回り、従業員のDI 値で今期実績横ばい、資金繰りのDI 値で今期実績を下回る見通し。

## 2. 前期比D I 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で前期実績を下回った。

### 指標別の状況

- 業況DI 値は、前期実績▲38.1 から▲45.3 (7.2 ポイント減) となった。
- 売上DI 値は、前期実績▲34.0 から▲53.7 (19.7 ポイント減) となった。
- 資金繰りDI 値は、前期実績▲12.4 から▲21.1 (8.7 ポイント減) となった。

### 繊維製造業の状況

- 今期(表 9、10 参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI 値で前期実績を下回った。

## 3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(23 件、19 事業所)に比べ、件数、事業所数ともに減少している。

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は20 件(16 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』5 件、『車両・運搬具』『OA機器』『付帯設備』各4 件、『工場建物』3 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は29 件(19 事業所)。その主な内訳(予定)は、『生産設備』11 件、『OA機器』7 件、『工場建物』6 件となっている。

## 4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』『販売等単価の低下・上昇難』『ニーズの変化への対応』を挙げている。

# 業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

## A社（繊維製造業〈紳士服地製造〉）

取引先での在庫ストックが多くあり、その在庫処理に追われているため新規受注までいかない。在宅勤務やカジュアル化が進んでいる事は、経営悪化に大きな影響を与えている。商いの転換期を迎えたことを肌で感じ、昨年 EC サイトを立ち上げた。

## B社（繊維製造業〈テキスタイル製造〉）

令和 2 年度と比較すると、受注状況は約 6 割。秋冬商品の店頭在庫を多く抱えたほか、客先のブランド廃止、店舗削減などにより、今後も注文数は減少すると予想している。今後の情勢次第では、会社の方針転換も視野に入れたいと考えている。

## C社（繊維製造業〈婦人服地製造〉）

今冬はどちらかと言えば厳しい寒さがあり、気候条件的にも冬物衣料販売の追い風となる筈であったが、緊急事態宣言の発令により百貨店等への客足が遠のき、売上も不振に終わった。コロナ禍の影響が終息し、業況回復を期待している。

## D社（製造業〈自動車部品製造〉）

自動車の開発案件の遅れや中止の影響により、仕事量が減少している。春先にかけて少しずつ持ち直してきているが、その先の見通しは立っていない状況。EC サイトの立ち上げや、テレワーク導入など、IT ツールの活用を進めている。

## E社（サービス業〈ビルメンテナンス〉）

新型コロナウイルスの影響により、これまで業務委託を受けていたものが一部、内製化するといった案件が発生した。来年度以降もコロナによる経営悪化が続くと予想されることから、締め付けが更になると予想される。

## F社（卸売業〈食品容器、包装資材等販売〉）

12 月に発令された緊急事態宣言の影響により、時短要請を受けた当社取引先の飲食店では、1 月・2 月の売上げが激減し、厳しい状況である。また、個人経営の飲食店ではテイクアウトサービスを実施している店舗が少なく、そうした店舗と取引の多い当社にとってはあまり恩恵を受けていない。また、イベント等が開催されないまたは、規模の縮小といった点も大きな影響を受けている。

## G社（小売業〈加工食品販売〉）

緊急事態宣言による外出自粛が呼びかけられている事もあり、日中の人出が減少した事もあって平日昼間の売上げが伸び悩んでいる。土日祝日は、まとめ買いされる方も見え、売上げの減少幅は少ない。春の陽気となってきたため、宣言解除後に人出が回復する事を期待したい。

## 景況の推移（全業種95事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	R2. 1～3月	R2. 4～6月	R2. 7～9月	R2. 10～12月	今 期 R3. 1～3月	来期の見通し R3. 4～6月
業 況	▲36.0	▲71.4	▲70.7	▲63.9	▲60.0	▲36.8
売 上	▲34.0	▲70.4	▲69.7	▲71.1	▲66.3	▲38.9
採 算	▲37.0	▲63.3	▲67.7	▲59.8	▲58.9	▲41.1
資金繰り	▲20.0	▲44.9	▲27.3	▲23.7	▲18.9	▲17.9
従 業 員	▲11.0	▲ 6.1	▲12.1	▲ 9.3	▲ 6.3	0.0

## 景況の推移（繊維製造業47事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	R2. 1～3月	R2. 4～6月	R2. 7～9月	R2. 10～12月	今 期 R3. 1～3月	来期の見通し R3. 4～6月
業 況	▲55.1	▲83.3	▲77.1	▲70.2	▲76.6	▲53.2
売 上	▲49.0	▲79.2	▲83.3	▲74.5	▲76.6	▲53.2
採 算	▲44.9	▲66.7	▲72.9	▲61.7	▲66.0	▲48.9
資金繰り	▲32.7	▲58.3	▲39.6	▲38.3	▲29.8	▲31.9
従 業 員	▲ 6.1	▲10.4	▲ 2.1	▲ 4.3	▲ 6.4	▲ 6.4

# 業種別集計表 (全業種95事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	58	10	11	9	95	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 (1)	3 (6)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	4 (9)	▲ 60.0  (▲36.8)
	不変	5 (4)	10 (20)	4 (5)	8 (9)	3 (4)	30 (42)	
	悪化	2 (2)	45 (32)	6 (4)	3 (2)	5 (4)	61 (44)	
売上	増加	0 (0)	4 (8)	0 (1)	2 (5)	1 (3)	7 (17)	▲ 66.3  (▲38.9)
	不変	2 (2)	7 (14)	3 (5)	5 (3)	1 (0)	18 (24)	
	減少	5 (5)	47 (36)	7 (4)	4 (3)	7 (6)	70 (54)	
採算	好転	1 (2)	3 (6)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (9)	▲ 58.9  (▲41.1)
	不変	2 (1)	15 (19)	4 (5)	8 (9)	2 (4)	31 (38)	
	悪化	4 (4)	40 (33)	6 (4)	3 (2)	7 (5)	60 (48)	
資金繰り	好転	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	5 (4)	▲ 18.9  (▲17.9)
	不変	7 (7)	35 (36)	10 (10)	9 (9)	6 (8)	67 (70)	
	悪化	0 (0)	20 (19)	0 (0)	2 (2)	1 (0)	23 (21)	
従業員	増加	0 (0)	7 (5)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	8 (7)	▲ 6.3  (0.0)
	不変	7 (6)	42 (49)	9 (9)	10 (11)	5 (6)	73 (81)	
	減少	0 (1)	9 (4)	1 (0)	1 (0)	3 (2)	14 (7)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ( )内は来期

# 新規設備投資集計表 (全業種95事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	16	来期	計画している ※2	19
	(事業所数)	実施していない	79	(事業所数)	計画していない	76

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	1 件	5. 付帯施設	4 件	0 件
2. 工場建物	3 件	6 件	6. O A 機器	4 件	7 件
3. 生産設備	5 件	11 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	4 件	3 件	8. その他	0 件	1 件
			合計	20 件	29 件

複数回答可

## 業種別集計表 (繊維製造業47事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	5	21	10	3	8	47	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (3)	▲ 76.6  (▲53.2)
	不変	1 (3)	1 (3)	3 (4)	1 (1)	1 (5)	7 (16)	
	悪化	3 (2)	20 (17)	7 (5)	2 (2)	6 (2)	38 (28)	
売上	増加	2 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	1 (1)	3 (5)	▲ 76.6  (▲53.2)
	不変	0 (2)	2 (4)	2 (1)	0 (1)	1 (4)	5 (12)	
	減少	3 (2)	19 (16)	8 (7)	3 (2)	6 (3)	39 (30)	
採算	好転	1 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (4)	▲ 66.0  (▲48.9)
	不変	2 (3)	5 (6)	2 (2)	1 (1)	2 (4)	12 (16)	
	悪化	2 (1)	16 (14)	8 (7)	2 (2)	5 (3)	33 (27)	
資金繰り	好転	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	3 (2)	▲ 29.8  (▲31.9)
	不変	2 (3)	11 (11)	7 (6)	3 (2)	4 (6)	27 (28)	
	悪化	2 (1)	9 (10)	3 (4)	0 (1)	3 (1)	17 (17)	
従業員	増加	1 (0)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	▲ 6.4  (▲6.4)
	不変	4 (4)	14 (18)	9 (9)	2 (3)	7 (8)	36 (42)	
	減少	0 (1)	4 (2)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	7 (4)	

※ 採算は経常利益で判断

## 新規設備投資集計表 (繊維製造業47事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	8	来期	計画している ※2	8
	(事業所数)	実施していない	39	(事業所数)	計画していない	39

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	0 件
2. 工場建物	2 件	2 件	6. O A 機器	1 件	5 件
3. 生産設備	4 件	3 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	1 件	0 件	8. その他	0 件	0 件
			合計	9 件	10 件

複数回答可

# 景況の推移 (全業種95事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	R2.1～3月	R2.4～6月	R2.7～9月	R2.10～12月	今 期 R3.1～3月
業 況	▲30.0	▲72.4	▲48.5	▲38.1	▲45.3
売 上	▲41.0	▲59.2	▲47.5	▲34.0	▲53.7
資金繰り	▲20.0	▲39.8	▲23.2	▲12.4	▲21.1

# 業種別集計表 (全業種95事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	58	10	11	9	95	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	2	4	0	0	0	6	▲ 45.3
	不 変	4	19	5	8	4	40	
	悪 化	1	35	5	3	5	49	
売 上	増 加	1	6	0	2	0	9	▲ 53.7
	不 変	1	13	5	4	3	26	
	減 少	5	39	5	5	6	60	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	0	1	3	▲ 21.1
	不 変	7	37	10	9	6	69	
	悪 化	0	19	0	2	2	23	

# 景況の推移 (繊維製造業47事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	R2.1～3月	R2.4～6月	R2.7～9月	R2.10～12月	今 期 R3.1～3月
業 況	▲40.8	▲77.1	▲56.3	▲44.7	▲57.4
売 上	▲46.9	▲62.5	▲56.3	▲42.6	▲59.6
資金繰り	▲26.5	▲54.2	▲31.3	▲25.5	▲29.8

# 業種別集計表 (繊維製造業47事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	5	21	10	3	8	47	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	1	0	1	0	0	2	▲ 57.4
	不 変	3	5	4	1	3	16	
	悪 化	1	16	5	2	5	29	
売 上	増 加	1	2	1	0	0	4	▲ 59.6
	不 変	3	6	2	0	0	11	
	減 少	1	13	7	3	8	32	
資 金 繰 り	好 転	1	0	0	0	1	2	▲ 29.8
	不 変	3	14	6	2	4	29	
	悪 化	1	7	4	1	3	16	

# 『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順 位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○民間需要の停滞	○官公需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難 ○熟練技術者の 確保難
繊維製造業	○需要の停滞	○製品ニーズの 変化への対応	○製品(加工)単価の 低下・上昇難
製造業 (繊維製造業は除く)	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○製品ニーズの 変化への対応 ○原材料費・人件費 以外の経費の増加 ○製品(加工)単価の 低下・上昇難
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○小売業の進出による 競争の激化 ○店舗・倉庫の狭隘・ 老朽化 ○人件費以外の 経費の増加 ○仕入単価の上昇 ○代金回収の悪化
小売業	○消費者ニーズの 変化への対応 ○販売単価の低下・ 上昇難	○購買力の他地域 への流出	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化 ○需要の停滞
サービス業	○利用者ニーズの 変化への対応	○従業員の確保難	○利用料金の低下・ 上昇難 ○需要の停滞

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	2
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	1
請負単価の低下・上昇難	4
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	2
熟練技術者の確保難	4
下請業者の確保難	0
官公需要の停滞	8
民間需要の停滞	14
その他	0
合 計	36

### 繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	5
新規参入業者の増加	2
製品ニーズの変化への対応	49
生産設備の不足・老朽化	12
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	6
原材料の不足	3
人件費の増加	11
原材料費・人件費以外の経費の増加	2
製品(加工)単価の低下・上昇難	21
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	4
事業資金の借入難	2
従業員の確保難	2
熟練技術者の確保難	15
需要の停滞	97
その他 (生産設備の自動化・高度化、外注先(染色)の確保難、ウイルスの終息が早く終わること、コロナの影響、コロナ禍による売上減少、状況変化に対応、消費者ニーズの変化)	18
合 計	249

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 製 造 業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	6
生産設備の不足・老朽化	4
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	3
原材料の不足	0
人件費の増加	12
原材料費・人件費以外の経費の増加	6
製品(加工)単価の低下・上昇難	6
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	4
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	22
その他	0
合 計	65

### 卸 売 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	0
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	3
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	3
販売単価の低下・上昇難	4
仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	3
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	1
需要の停滞	24
その他 (コロナ)	3
合 計	47

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

## 『直面している経営上の問題点』の集計表

### 小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	6
同業者の進出	3
購買力の他地域への流出	8
消費者ニーズの変化への対応	11
店舗の狭隘・老朽化	2
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	11
仕入単価の上昇	3
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	6
その他 (コロナ)	3
合 計	53

### サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
利用者ニーズの変化への対応	15
店舗施設の狭隘・老朽化	1
人件費の増加	4
人件費以外の経費の増加	1
利用料金の低下・上昇難	6
材料等仕入単価の上昇	0
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	0
需要の停滞	6
その他 (売上減少)	3
合 計	49

※ 1位 … … 3ポイント  
 2位 … … 2ポイント  
 3位 … … 1ポイント

景況 DI (全業種) - 前年同期比 -

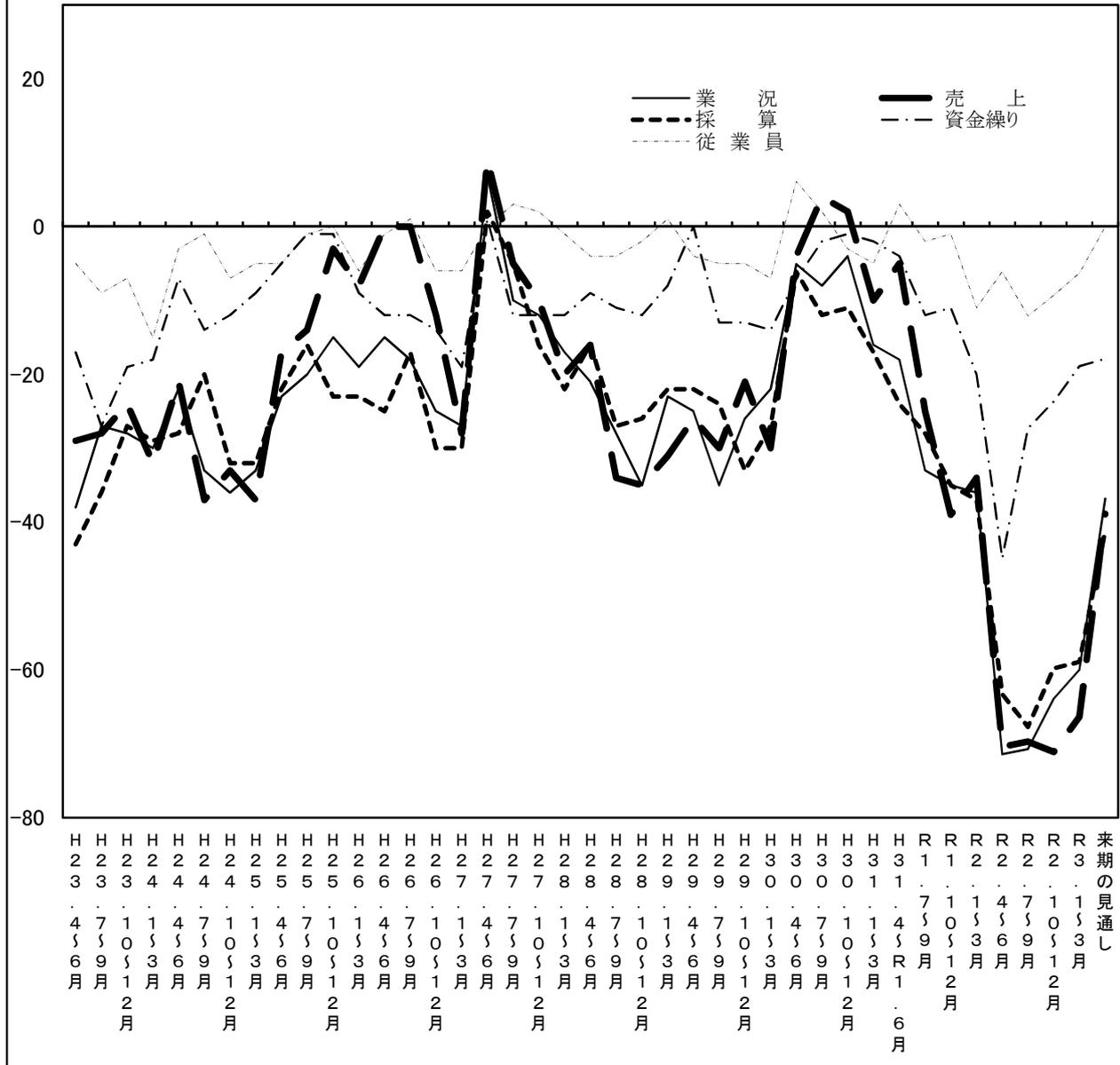




図 4

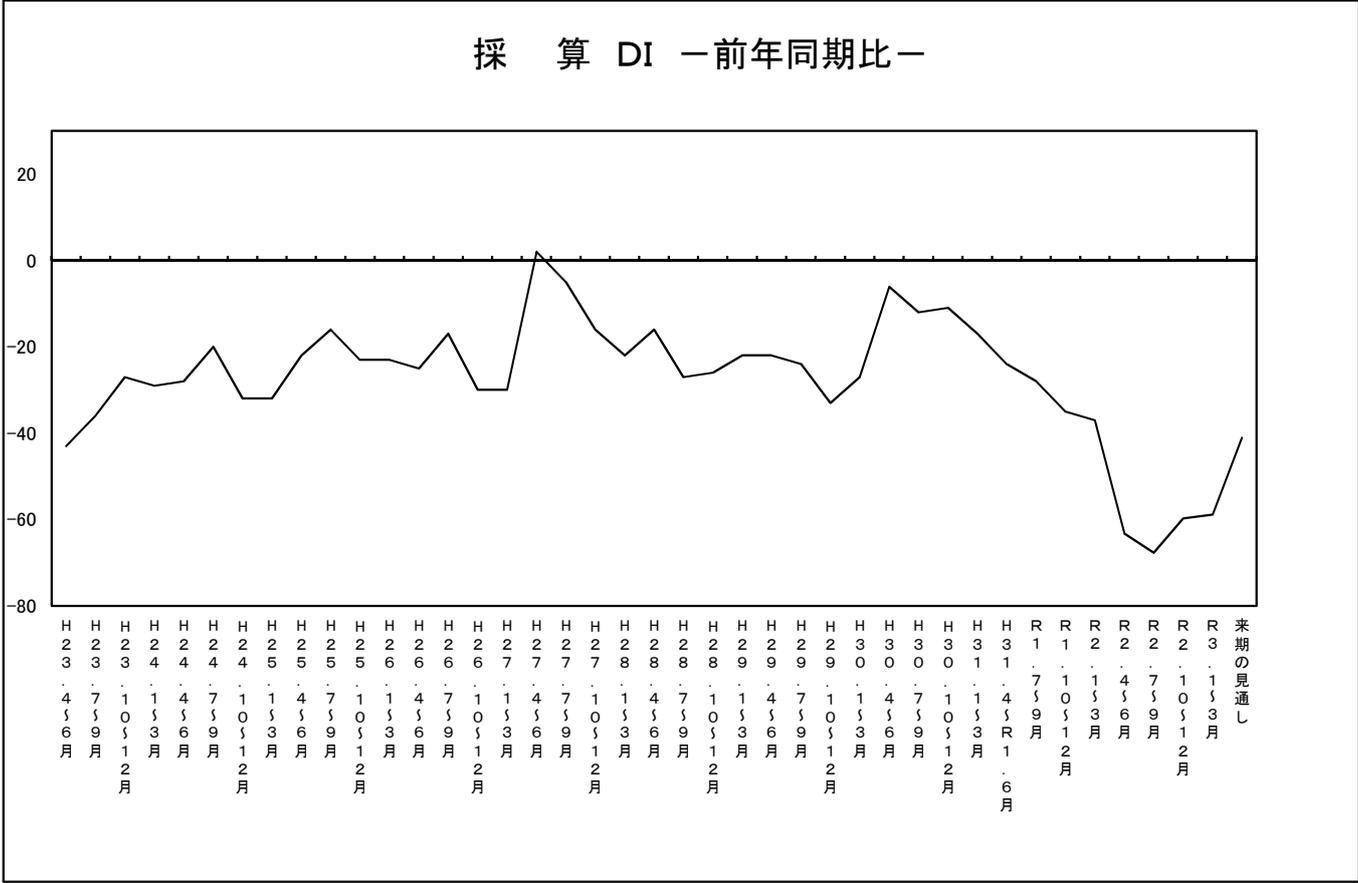
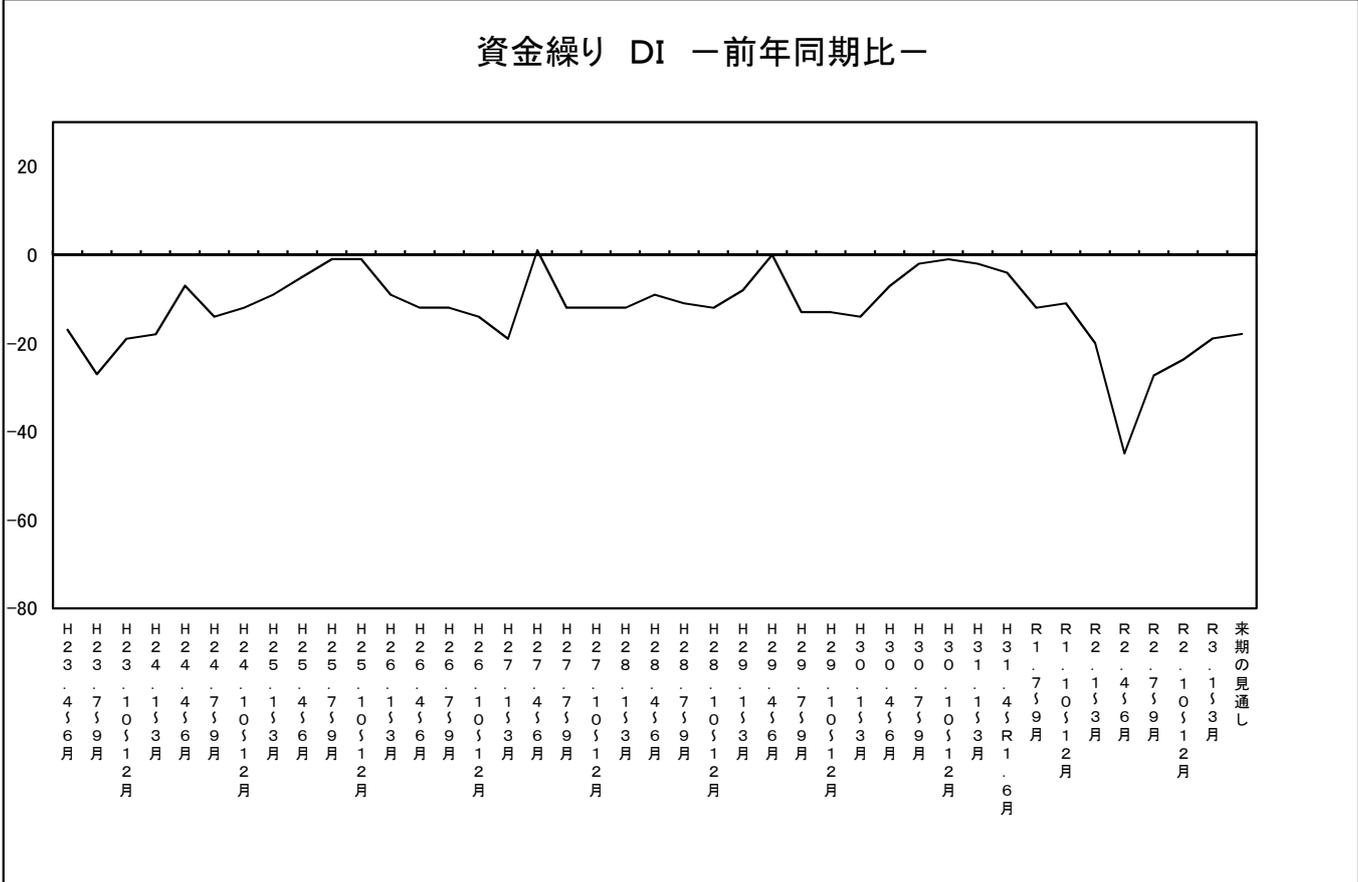
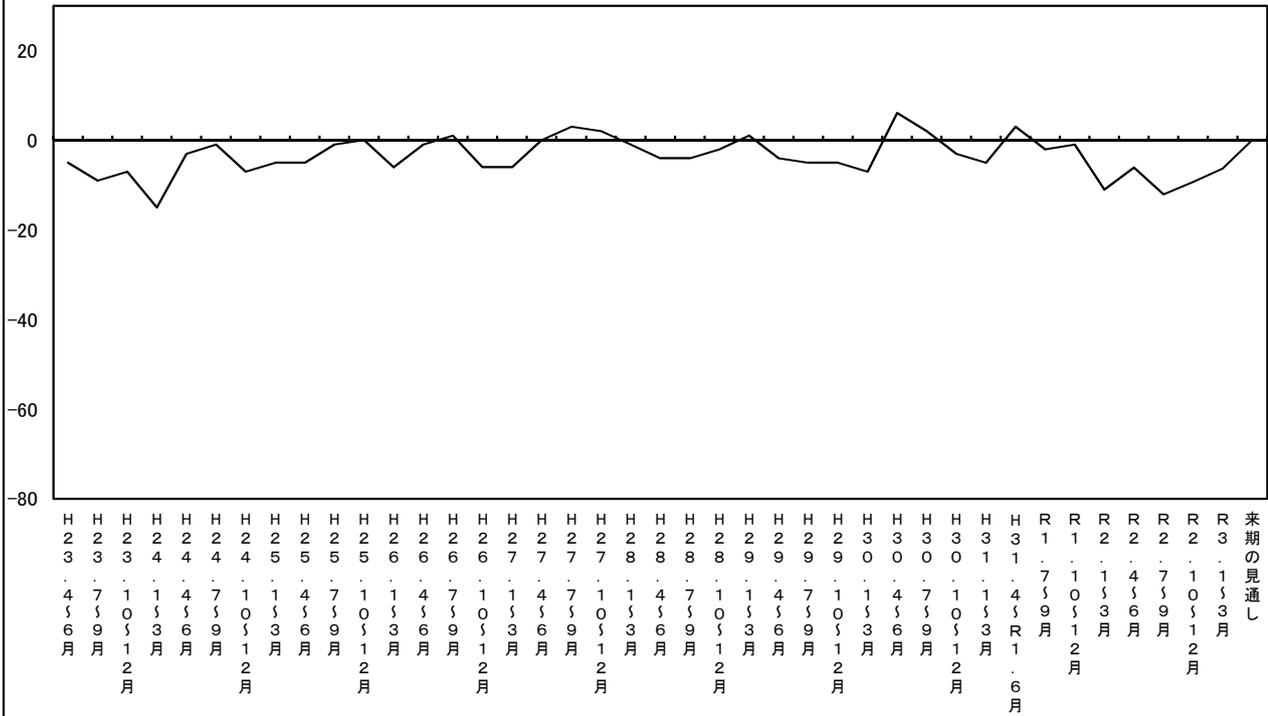


図 5



従業員 DI - 前年同期比 -







**一 宮 商 工 会 議 所**  
**中 小 企 業 相 談 所**

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail [soudan@ichinomiya-cci.or.jp](mailto:soudan@ichinomiya-cci.or.jp)